

情報モラル育成のためのデジタルコンテンツ

添付のCDに、保護者向けのパンフレット用データが入っています。配布だけでも保護者に考えてもらえるきっかけになります。様々な場面でご利用ください。

CDをパソコンに入れるだけで、スライドやフラッシュコンテンツが簡単に再生できます。

基本事項の指導の他にも、手軽に扱える学習プランがあります。グループ学習は、情報社会に参画する態度や心を育む上で、大変効果的です。

CD-ROM メニュー画面

情報モラルの育成

～ 情報モラルの育成に関するアンケートに基づいて ～

情報モラルの育成 CD-ROMメニュー

タイトルをクリックするとサブメニューが現れます。

- 1. 児童生徒向けプレゼンテーション資料
- 2. 保護者向けプレゼンテーション資料
- 3. 情報モラルプレゼンテーション資料
- 4. 情報安全ワンポイント指導事例集 (プレゼンテーション資料)
- 5. センターコンテンツ及び児童生徒指導推進室・県警等関係資料
- 6. パンフレット
- 7. アンケートデータ
- 8. 情報モラルリンク集
- 9. その他 ネット社会の歩き方、授業用「学習ユニット(解説付き)」

総合教育センター
栃木県宇都宮市瓦谷町1070 Copyright (c) 2008 Tochigi Prefectural Center all right reserved

人が作ったものを勝手に使うことは？

この前買ったゲームのソフト貸してくれる？僕のパソコンにインストールして使いたいんだ。

いいよ、明日もってくるからね。

このゲームいいね。ぼくは僕も欲しかったんだ。

1 ハルオ君の家で新作ゲームをしているタイチ君。



調査の概要

詳細なデータは総合教育センターのホームページで公開しています。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>

目的

インターネット・携帯電話などの新しいメディアの普及と利用拡大により、子どもたちを取り囲む環境が大きく変化してきています。この調査は、県内小5、中2、高2の任意抽出クラスの児童生徒とその保護者を対象に、児童生徒の携帯電話とパソコンの利用状況などについて把握し、情報モラル指導の一層の推進を図ることを目的としています。

対象及び有効回答数

情報モラルの育成に関するアンケート(児童生徒)			情報モラルの育成に関するアンケート(保護者)		
対象	実施学校数	有効回答数	対象	実施数	有効回答数
小学5年生	県内16校	525人	小学5年生の保護者	児童アンケート実施校16校	525人
中学2年生	県内11校	304人	中学2年生の保護者	生徒アンケート実施校11校	303人
高校2年生	県内12校	398人	高校2年生の保護者	生徒アンケート実施校12校	397人

調査方法

質問紙による。

調査期日

平成20年6月中旬から7月中旬の適当日時を学校が定めて実施

トラブル・事件事故に関する相談

相談機関	電話番号	eメールアドレスまたはホームページのURL
栃木県教育委員会事務局学校教育課	小中学校担当 028-623-3390 高等学校担当 028-623-3382	eメール: gakkou-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp
栃木県警察本部 あなたの相談室	028-627-9110	—
栃木県消費生活センター	028-665-7744	—
警察庁インターネット安全・安心相談	—	URL: http://www.cybersafety.go.jp/

教材・資料等を公開しているホームページ

参考機関	ホームページのURL
栃木県総合教育センター	http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/
独立行政法人 教員研修センター	http://www.nctd.go.jp/
”情報モラル”授業サポートセンター	http://sweb.nctd.go.jp/support/
情報モラル研修教材2005	http://sweb.nctd.go.jp/2005/index.htm
CEC 財団法人 コンピュータ教育開発センター	http://www.cec.or.jp/CEC/index.html
インターネット活用ガイドブック モラル・セキュリティ編	http://www.cec.or.jp/books/guidebook.pdf
ネット社会の歩き方	http://www.cec.or.jp/net-walk/
社団法人 日本教育工学振興会	http://www.jpapet.or.jp/
やってみよう 情報モラル教育	http://kayoo.info/moral-guidebook-2007/
警察庁 サイバー犯罪対策	http://www.npa.go.jp/cyber/
インターネットトラブル(警察庁)	http://www.npa.go.jp/nettrouble/index.htm
ポリスチャンネル ビデオライブラリー	http://www.police-ch.jp/video/
ねちずん村	http://www.netizenv.org/top.htm

対応のポイント

- 携帯電話利用の実態を把握しましょう。
- 携帯電話が子どもに及ぼす影響について考えましょう。
- 保護者・学校・地域で協力して、子どもたちに情報モラルを指導しましょう。

みんなで考えましょう

— お子さんにとって携帯電話は本当に必要ですか？ —

多くの子どもたちの携帯電話は、有害サイトにいつでもつながり、使い放題の環境になっています。

携帯電話の所持率が高まり、使用時間も増えています。その結果、携帯電話にかかわるトラブルも年々増加しています。

— その携帯電話の使い方で大丈夫ですか？ —

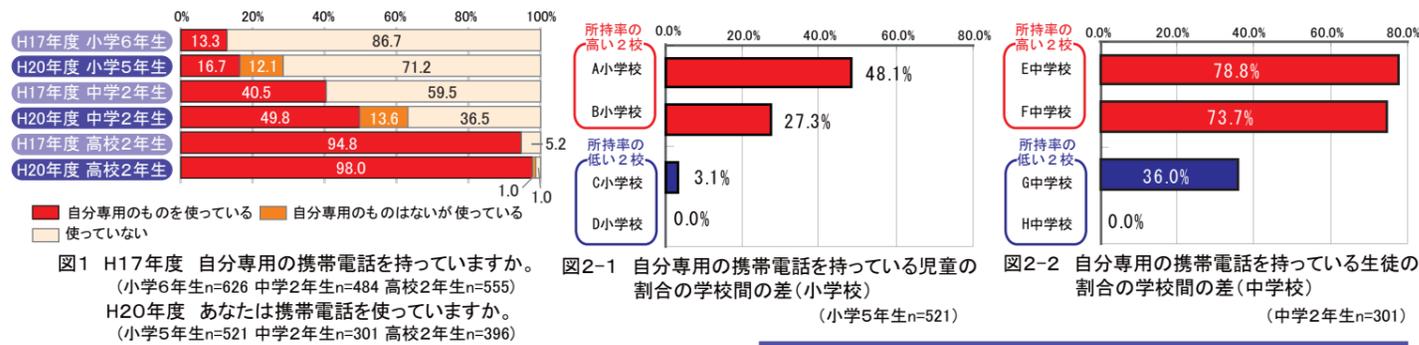
パケット定額制の環境では、子どもたちが危険に遭遇する可能性が高まります。また、家庭での学習時間や睡眠時間の減少、ネット依存症等の問題も起きています。

多くの子どもたちは、家庭内ルールがないまま自由に携帯電話を使っています。中には、メールのやりとりで戸惑いを感じている子どもや、使い過ぎを自覚しながらも携帯電話の使用をやめられない子どももいます。

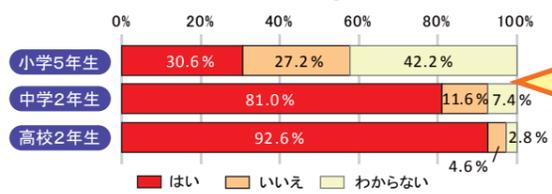
当センターでは、平成20年7月に、県内の児童生徒・保護者を対象として、インターネットや携帯電話の使用に関するアンケート調査を行いました。その結果をもとに、児童生徒が情報社会の中でインターネットや携帯電話を、安全に、安心して活用できるようにしていくための対応について提案します。

お子さんにとって携帯電話は本当に必要ですか？

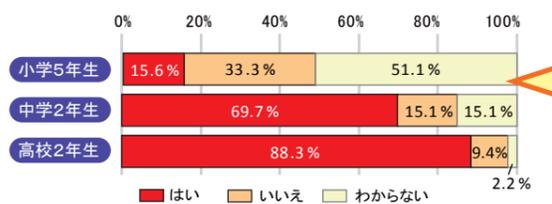
増え続ける携帯電話所持率



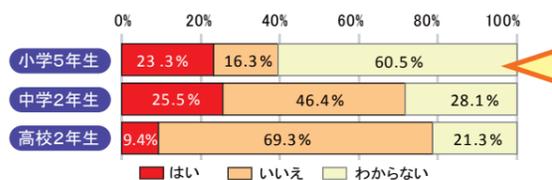
子どもたちの携帯電話所持率は年々増加しています。



インターネットに接続可能



インターネット使い放題



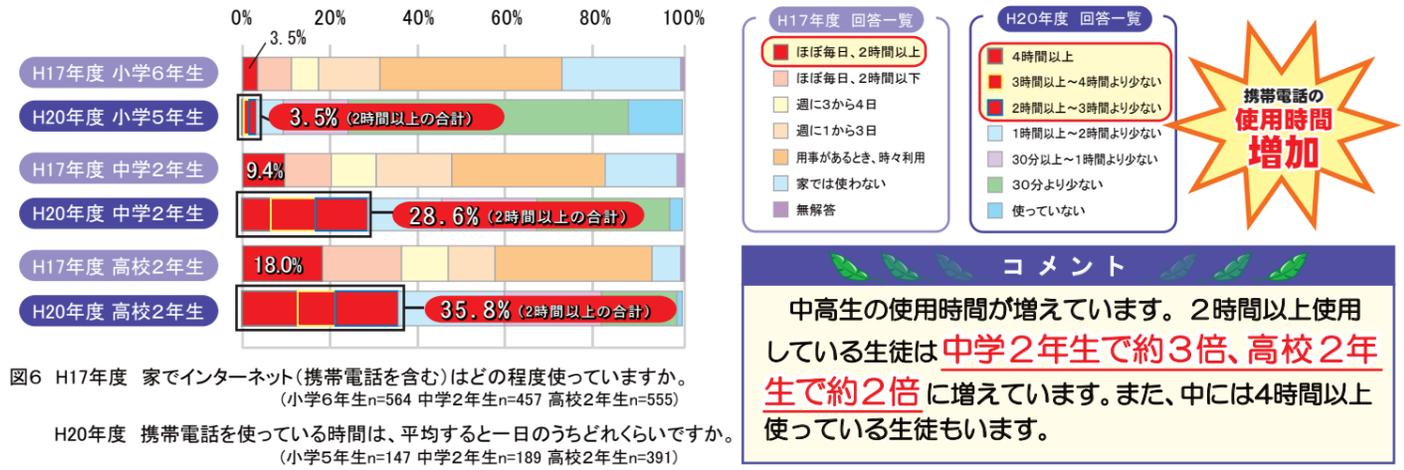
フィルタリングなし

悪口・誹謗中傷サイト
 出会い系サイト
 アダルトサイト

多くの子どもたちの携帯電話は、有害サイトにいつでもつながり、使い放題の環境になっています。

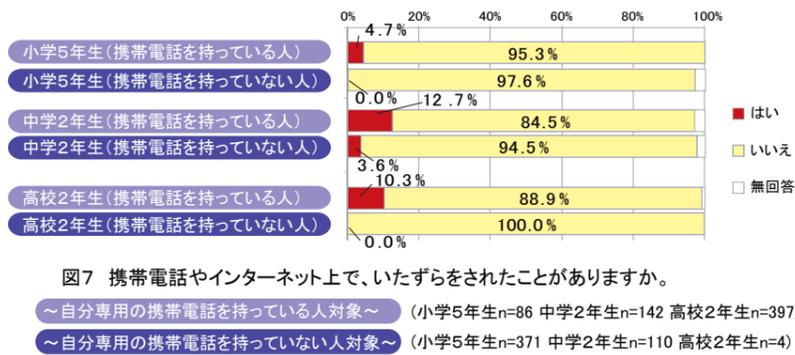
保護者と学校の連携により、携帯電話を持たせない指導をしている学校もあります。お子さんに携帯電話を持たせる前に、携帯電話が本当に必要なかどうか、もう一度考えさせましょう。

増え続ける中高生の携帯電話使用時間

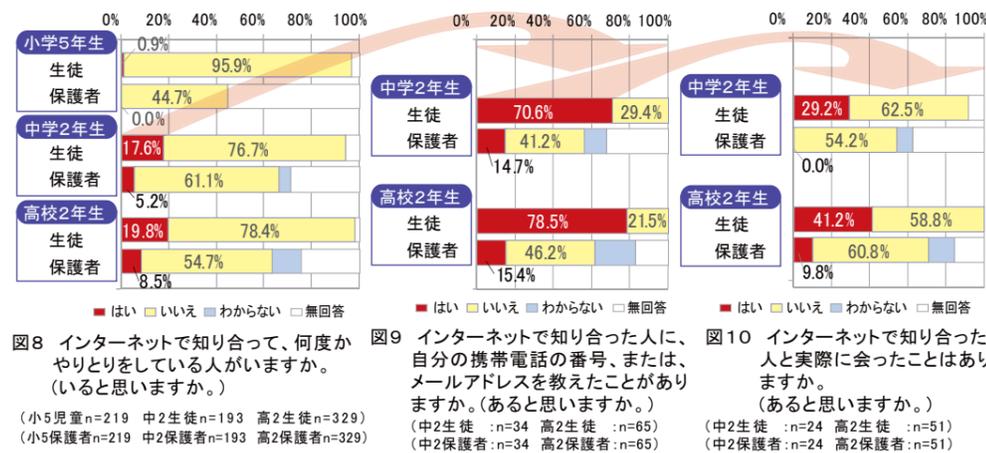


携帯電話に潜む危険性

携帯電話を持つことにより、いたずらをされる危険性が増えています。



保護者の知らないところで、子どもたちは交遊を広げています。



児童生徒の実態と保護者の認識には大きな差があります。インターネットで知り合った人がいる生徒のうち、その多くは携帯電話の番号やメールアドレスなどの個人情報を教えてしまっています。そのうち、**中学2年生の約3割、高校2年生の約4割は、実際に会っています。**インターネット上には、悪意をもった人たちも身を潜めています。

携帯電話の所持率が高まり、使用時間も増えています。その結果、携帯電話にかかわるトラブルも年々増加しています。

お子さんの安全確保のために、携帯電話を持たせることも一つの方法かもしれませんが、他の方法で安全を確認することも大切です。携帯電話を持つことで発生する危険性について、お子さんと話し合ってみましょう。

その携帯電話の使わせ方で大丈夫ですか？

携帯電話の契約状況の実態

フィルタリングを利用するとネットトラブルが減少します。

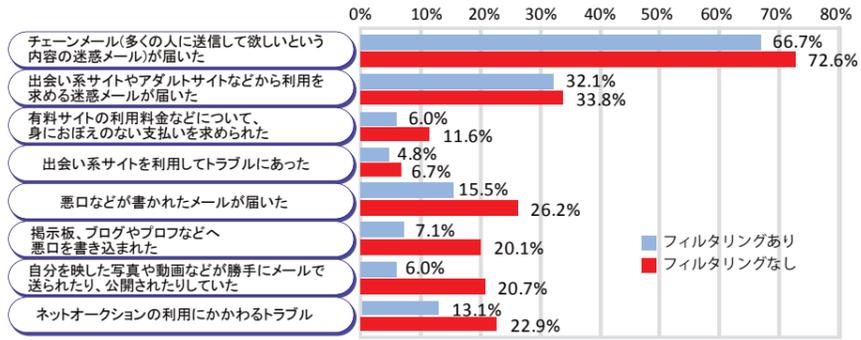
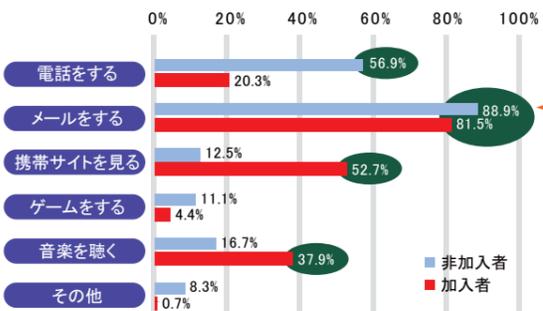


図11 インターネットを使っていて、経験したことがあるトラブルを次のうちから選んでください。(小学5年生:n=17 中学2年生:n=110、高校2年生:n=285)

コメント
インターネットトラブルの件数は、フィルタリングをかけることで減らすことができます。平成21年より、携帯各社が未成年の携帯電話に対して、一斉に**フィルタリングサービスを開始**します。保護者の解除申請がない限り、フィルタリングが適用されます。

パケット定額制の契約で使用状況が大きく異なります。



携帯サイト閲覧し放題

音楽ダウンロードし放題

インターネット接続4時間以上

「パケット定額制」とは、
※ 携帯電話でWebサイトやメール、情報サービスなどを利用した時の料金を、送受信データ量に関わらず一定とする料金制度です。

コメント
パケット定額制に加入していない児童生徒は、主に通話やメールを使用しています。しかし、加入している児童生徒は、メールの使用に加えて**携帯サイトや音楽サイト**などでの使用が主になっています。

コメント
インターネットの使用時間は、パケット定額制に加入していない中高生の場合、5割以上が30分未満であるのに対して、加入している中高生の場合、約4割が2時間以上使用し、中には**4時間以上**使用している生徒も多く見受けられます。

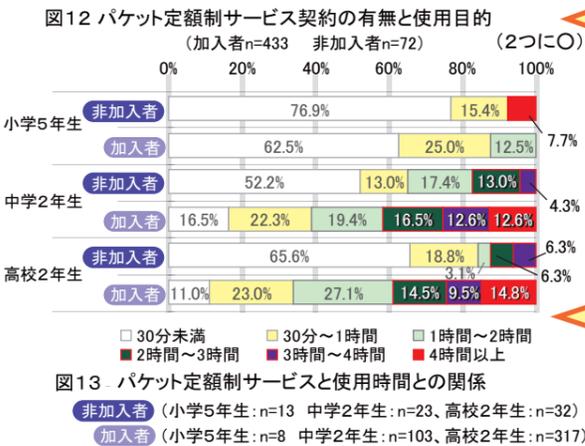


図13 パケット定額制サービスと使用時間との関係
非加入者 (小学5年生:n=13 中学2年生:n=23、高校2年生:n=32)
加入者 (小学5年生:n=8 中学2年生:n=103、高校2年生:n=317)

パケット定額制の環境では、子どもたちが危険に遭遇する可能性が高まります。また、家庭での学習時間や睡眠時間の減少、ネット依存症等の問題も起きています。

✓ フィルタリングサービスを利用しましょう。「携帯電話使用料金は小遣いから払う。」「約束の金額を超えたらインターネット接続を解約する。」などの家庭内ルールをつくり、契約内容を見直してみましょう。

家庭内携帯電話使用ルールの実態

家庭内ルールなし

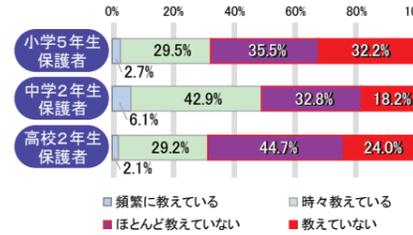


図14 コンピュータや携帯電話を使用しているインターネットの適切な使い方について、お父さんとの程度教えていますか。(小5保護者:n=518 中2保護者:n=296、高2保護者:n=387)

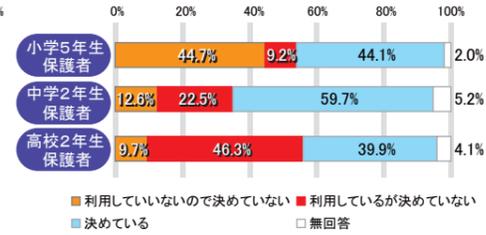


図15 インターネットやメールの使用について、お父さんと決めてルールはありますか。(小5保護者:n=152 中2保護者:n=191、高2保護者:n=393)

コメント
児童生徒にインターネットの適切な使い方について教えている保護者は、半数以下です。高校2年生の**半数以上は家庭内ルールがないまま、自由に携帯電話を使用しています。**

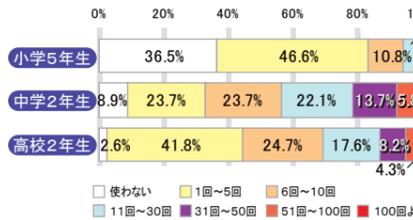


図16 携帯電話でメールを送る回数は、平均すると一日のうちどれくらいですか。(小学5年生:n=148 中学2年生:n=190 高校2年生:n=392)

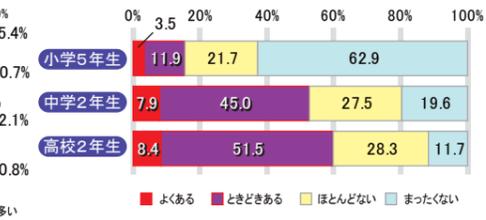


図17 やりたいことがあるのに、メールがきてこまると思うことがありますか。(小学5年生:n=143 中学2年生:n=189 高校2年生:n=392)

メールがきて困る
中学2年生の約4割が毎日11回以上メールを使っています。中には**51回以上**という生徒も約1割います。中高生の半数は、**メールがきて困る**と思うことがあると答えています。

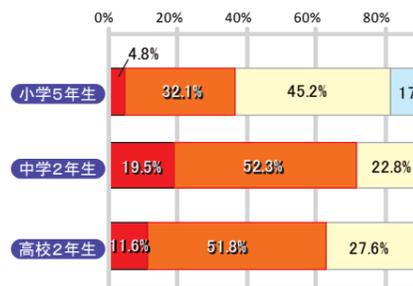


図18 あなたの携帯電話の使い方についてどう思いますか。(小学5年生:n=84 中学2年生:n=149 高校2年生:n=388)

使い過ぎを自覚している

コメント
中学2年生の約7割が使い過ぎまたは使う方だと感じています。また、約2割の生徒が**使い過ぎだと自覚**しています。使い方を見直すきっかけがつかめず、困っているお子さんがいるかもしれません。

子どもたちのコミュニケーションの実態

ゲームサイト

友だちとコミュニケーションをとるによく利用しているウェブサイト	新しい知り合いができたウェブサイト	その他のウェブサイト
1位 モバゲータウン 2位 前略プロフィール 3位 Yahoo! 4位 ハンゲーム 5位 GREE	1位 モバゲータウン 2位 前略プロフィール 3位 ハンゲーム 4位 もなちやっと、ふみコミュニティ、mixi、GREE、プチゲーフレズ、Esta!、C-BOX、au	NEXONオンラインゲーム、@peps、Yahoo! ブログ、あび屋、アミーバブログ、アミーバモバイル、嵐(ジャニーズ)の掲示板、インフィニティ、画像掲示板、ゲームの攻略サイト、ジュジュ、小説家になろう、チャット、ぼだタウン、バルビレッジ、マスプラ屋、みんなのブログ、メイプルストーリー、社のHP、何する? Jp

多くの子どもたちは、家庭内ルールがないまま自由に携帯電話を使っています。中には、メールのやりとりで戸惑いを感じている子どもや、使い過ぎを自覚しながらも携帯電話の使用をやめられない子どももいます。

✓ 改めて、携帯電話の安全な使い方についてお子さんと話し合い、携帯電話使用の家庭内ルールを決めましょう。お子さんの携帯電話使用にかかわる責任は保護者にあります。お子さんが大人になるまで見守りましょう。